

Title	大学入試改革の動向と今後の課題
Author	飯吉, 弘子
Citation	大阪市立大学大学教育. 15 卷 2 号, p.85.
Issue Date	2018-04
ISSN	1349-2152
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学教育研究センター
Description	第 21 回大学教育研究セミナー報告(2017 年 5 月 12 日開催): 講師:大久保 敦
DOI	10.24544/ocu.20180530-008

Placed on: Osaka City University

大学入試改革の動向と今後の課題

日 時：2017年5月12日（金曜）11時20分～12時10分

場 所：全学共通教育棟2階会議室

講 師（兼企画担当）

：大久保 敦（大学教育研究センター・副所長・教授）

講演内容：「大学入試改革の動向と今後の課題」

主 催：大阪市立大学 大学教育研究センター

本学の教育改善に資する研究の推進のために、12年前から、知識の共有化やディスカッションを行う場、大学教育研究センター専任・兼任研究員を中心とする大学教育に関する学内勉強会として、大学教育研究セミナーを実施してきました。昨年度に引き続き、今年度も第21回の大学教育研究セミナーを開催いたしました。

平成26年12月22日の中央教育審議会答申に沿って、平成32年度からの新テスト「大学入学共通テスト」の導入と個別大学の入学者選抜の改革からなる大学入試改革が進んでいます。このような大幅な改革は共通第1次学力試験、それに続く大学入試センター試験導入以後初めてであり、今後の高校教育や大学教育にも大きく影響を与えることが予想されます。

そこで今回のセミナーでは、大学教育研究センターの大久保教授を講師として、文部科学省による大学入試改革の動向、入試を取り巻く社会情勢（戦後の進学構造）の変化、入試における内部質保証（認証評価）や、本学への志願者の動向、入学後の学生の状況などについてご説明いただきました。また、入試における費用対効果やAO入試先行大学からの教訓などもご紹介いただき、それらもふまえて、大学入試改革の今後の課題を参加者の皆様とともに考えました。

大学教育研究センター会議終了後に、センターの所長以下、専任・兼任研究員および事務職員を対象として開催し、今回の参加者は17名でした。

（飯吉弘子〈セミナー運営担当〉）